

兵庫県における ウクライナ避難民支援の状況

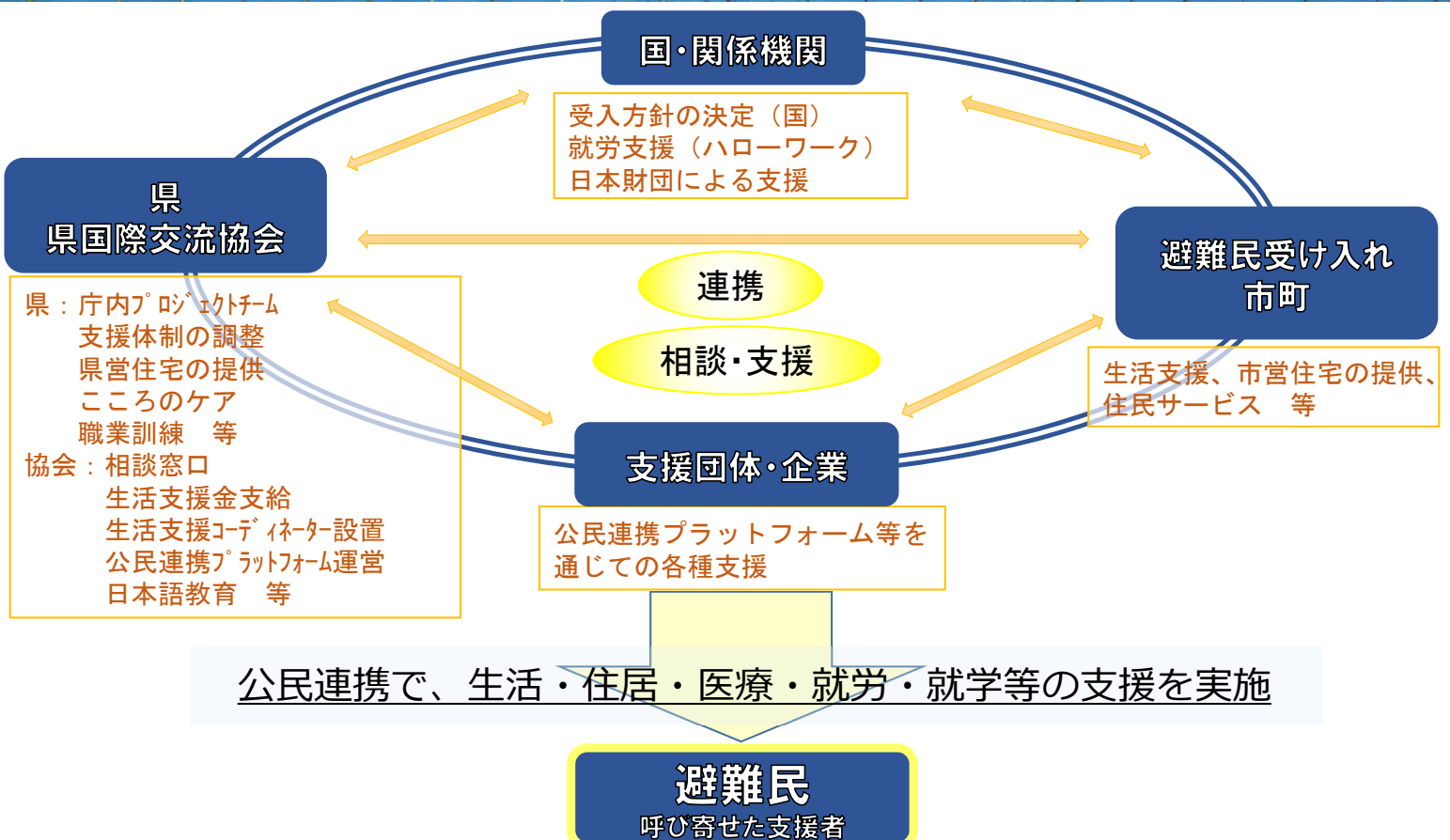
～ひょうごウクライナ支援プロジェクト～



令和6年2月23日

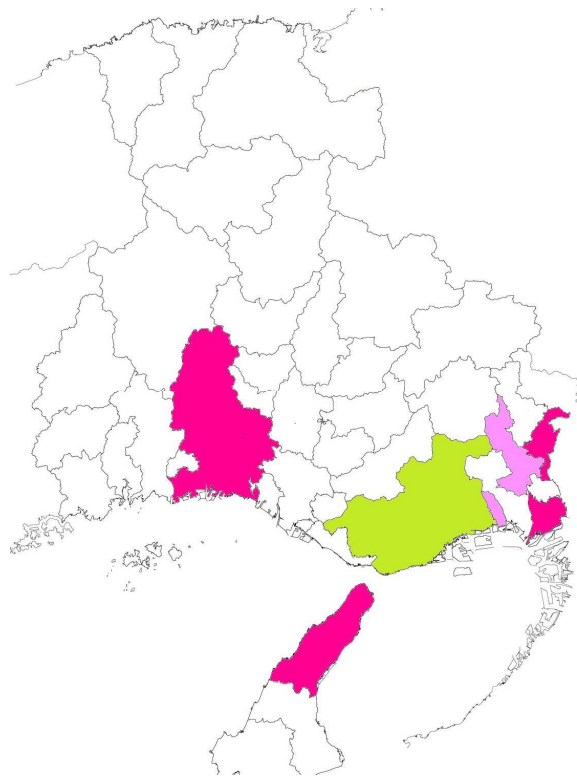
公益財団法人兵庫県国際交流協会(HIA)

1 ひょうごウクライナ支援プロジェクト ～兵庫はウクライナとともに～



2 避難民の状況／県営住宅等の状況

(1) 現在お住まいの方 **56組 107名** (R6.1.31時点)



神戸市	83名
神戸市以外	24名
淡路市	8名
尼崎市	6名
姫路市	4名
川西市	4名
芦屋市	1名
宝塚市	1名

累計 63組 123名

うち11名帰国
5名県外転出

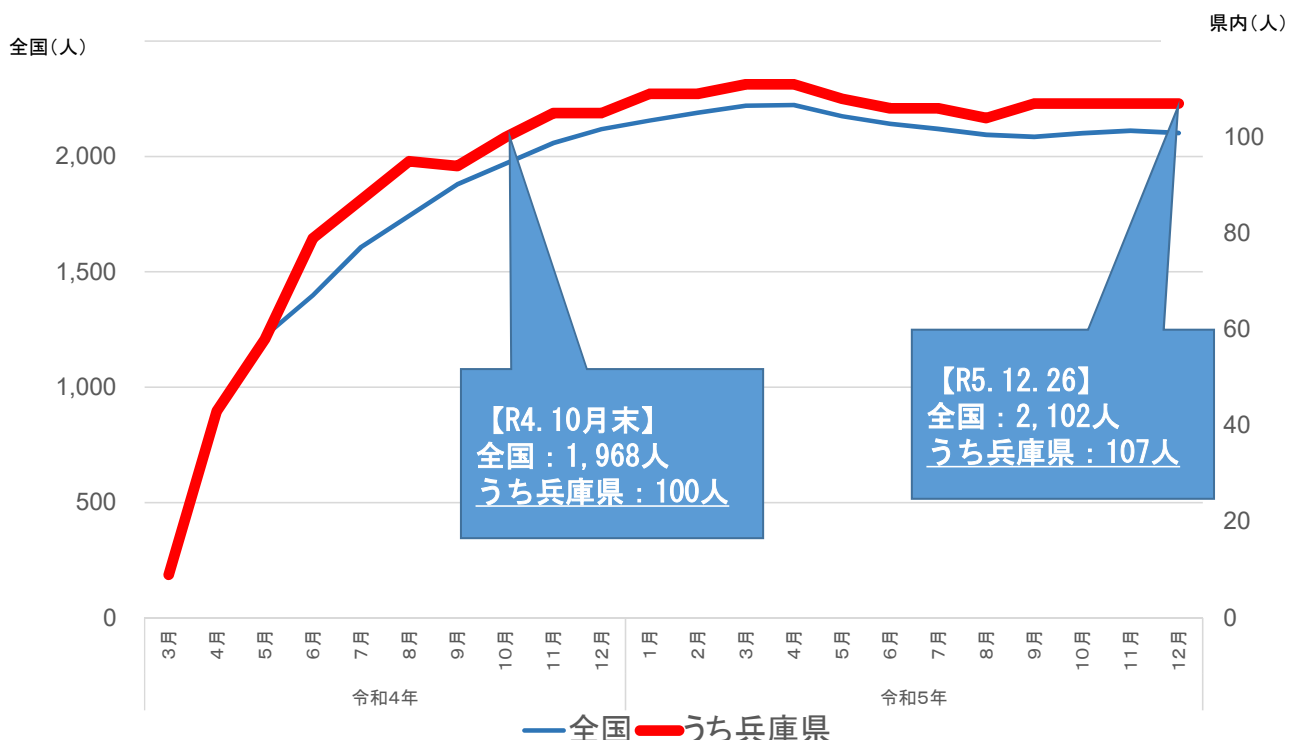
(2) 公営住宅入居 **54戸**

県営住宅		15戸
市営住宅	神戸市	34戸
	尼崎市	4戸
	芦屋市	1戸

(3) JICA関西宿泊施設の提供

8組 19名

(参考1) 避難者数の推移 (在留者数)



【R4. 10月末】
全国：1,968人
うち兵庫県：100人

【R5. 12. 26】
全国：2,102人
うち兵庫県：107人

令和5年度に入って、全国・兵庫県とも、避難者数はほぼ横ばい
兵庫県への新規避難者：5人
兵庫県からの転出者：9人(国外：4人、県外：5人)

3 ふるさとひょうご寄附金（ウクライナ支援）

寄附状況 **5,430件** **95,497千円** (R6.1.31時点)

※募金箱の設置（本庁舎、各県民局・県民センター等）

募金総額 **900,045円**（設置期間 R4.3.10 ~ 5.31）



2

県内のウクライナ避難民に対する支援

4 ひょうごウクライナ避難民生活支援金

支援内容		実績(R6.1.31時点)
生活準備のための一時滞在支援	最大 200千円 /世帯	1,220千円 / 8世帯
生活開始のための一時金支給	500千円 /世帯	15,500千円 /31世帯
生活費(食費・光熱水費等)	最大 1,440千円 /世帯	13,680千円 /32世帯
合計	最大 2,140千円 /世帯	30,400千円 /33世帯

【参考】

[日本財団による経済支援](#)

- 航空運賃
- 一時金50万円
- 生活費100万円/年×1人×3年

県内のウクライナ避難民に対する支援

5 ウクライナ避難民等相談窓口

【令和4年3月10日開設】 場所：外国人県民インフォメーションセンター

相談内容			計	
支援依頼	支援申出	その他	681件	(R6.1.31時点)
482	185	14		

相談例①（支援依頼）

住宅支援、生活支援、日本語教育、就労に関する事 等

相談例②（支援申出）

住宅・物資・就業機会の提供、通訳ボランティア 等

※神戸市も、KICC（神戸国際コミュニティセンター）、KFC（神戸定住外国人支援センター）に事業委託をし、独自に相談窓口を開設、それぞれに連携しながら対応

県内のウクライナ避難民に対する支援

6 ウクライナ避難民への日常生活コーディネーターの設置

【令和4年5月20日開設】 場所（特非）多言語センターFACIL

□ 日常支援

住民登録や健康保険の手続き、買い物（家電製品、食料品等）、医療機関への付き添い

□ 電話相談（母国語）

暮らしの中で困ったことや、知りたいことについて、アドバイス・情報提供

内 容	支援実績 (R6.1.31時点)
暮らしへの日常支援(通訳含む)	205件
母国語等による電話での生活相談	184件

在住のウクライナの方や日本語学校で日本語を学ぶ避難民も、スタッフとして活躍

支援スタッフ の紹介



ウクライナ人スタッフが取材を受けています



ツアーガイドをしています



イベントの案内や翻訳もしています



取材の通訳をしています



多言語センターFACILのスタッフ

(参考) 日常生活コーディネータ—翻訳事例

I 災害(Saigai)について学ぼう!

1 地震(Jishin)

日本は、世界の中で地震が多い国です。私たちの命や生活を守るために、地震について、よく知っておきましょう

◎ 震度(Shindo)

「震度」は私たちが住んでいる場所での揺れの大きさを、日本だけで使われています。大事な言葉なので覚えておきましょう。「マグニチュード」は、地震そのものの大きさを表します。

震度 7
建物が傾いたり、倒れます
土がくずれたり
地面が割れたりします
立つて歩くことができず、
強い揺れ、痛みたり
します

震度 7 (震度大)
大きな揺れ
建物が倒れる
(震度小)
小さな揺れ
建物が倒れる

阪神・淡路大震災
1995年1月17日、阪神地区の震度7、マグニチュード7.3の大地震が発生しました。25万人の家が壊れ、多くの人が犠牲者となりました。

◎ 気を付けること

学校にいたら
先生のいうことをよく聞いて、机の下などに入りましょう

電車・テラポットなどでは
あわてないで、落下物などに気をつけましょう

シェイクアウト訓練
地震の時の3つの安全確保行動です。揺れを守り、隠れない、身をよける行動です。ひょうご防災ネット(PP17)から訓練の材料をダウンロードして、家族で練習しましょう。

DRONI COVERI HOLD ON!
ますぐく 頭を守り 動かない

◎ できるだけ待ちましょう

◎ 揺れが止まらないうち

心、あわてず火を消します
をつくらします
くつをはきます

◎ 「揺れが止まらないうち」は避難所へ行きましょう(PP11)

「揺れが止まらないうち」は避難所へ行きましょう(PP11)
「揺れが止まらないうち」は避難所へ行きましょう(PP11)
「揺れが止まらないうち」は避難所へ行きましょう(PP11)

I Дізнайтеся про лихи (Сайгай)

1 Землетрус (Jishin)

Україна є однією з країн світу з найвищою кількістю землетрусів. Щоб захистити наше життя та здоров'я до кінця життя, давайте дізнаємося більше про землетруси.

◎ Сейсмо-бали (Синдо); Сейсмічна інтенсивність землетрусу у балах

«Синдо» - це величина тремора землетрусу у місці, де ми живемо. Це важливе слово, яке використовується лише в Україні, тому давайте його запам'ятуємо. «Магнітуда» - це розмір самого землетрусу.

7 балів
будівлі руйнуються та падають, сори обвалюються і земля тріскається

6 сильних балів (6+)
не можна стояти і ходити, слабкі будівлі нахиливаються і падають

6 слабких балів (6-)
стис важко стояти, наступна величезна вібрація відриває стіни, підлоги, а двері не відкриваються

5 сильних балів (5+)
стис важко ходити, неважкі предмети падають

5 слабких балів (5-)
тріскаються і відриваються цегли у вантажів, з падають балки роси та книги

7 балів
Великий землетрус

4 балів
Великий землетрус

Великий землетрус Хансін-Аншані
17 лютого 1975 року в Китаї відбувся великий землетрус. Він тривав 15 секунд і мав магнітуду 7.3. У результаті загинуло понад 250 тисяч осіб, а понад 10 мільйонів осіб залишилися бездомними.

◎ Чого слід остерігатися, коли починається землетрус

Якщо ви вдома
Залиште місце для себе, але зберігайте в собі спокій і розуміння.

Якщо ви на вулиці
Утримуйтеся від висхідних або висхідних об'єктів.

Якщо ви в школі
Слухайте вчителів і виконайте всі їхні вказівки.

Якщо ви в парку, універмагах тощо
Не намагайтеся рухатися, поки не закінчиться землетрус.

Вправа "Шейк аут"
Щоб захистити себе від падіння предметів, наприклад, книг, падаючих предметів, наприклад, предметів з полиць, під час землетрусу, потрібно встати на коліна, схилити голову вперед і закривити очі. Під час землетрусу потрібно встати на коліна, схилити голову вперед і закривити очі.

DRONI COVERI HOLD ON!
Підлогу встатися Беріть голову Закрийте

◎ Зачекайте, поки поштовхи припиняться

Захистіть себе самі протягом 2 хвилин після початку землетрусу!

◎ Коли «вдома перебувати небезпечно» - йдемо в евакуаційний пункт (PP12)

Коли небезпечно
Коли небезпечно
Коли небезпечно

Евакууйтесь!
Евакууйтесь!
Евакууйтесь!

Україна: українська версія

子どもと親の防災ガイドブック

Посібник для дітей та батьків

"Захист від стихійних лих"

1 災害(Saigai)について学ぼう! Дізнайтеся про лихи (Сайгай) 1

2 地震(Shindo) 2

3 震度(Shindo) 3

4 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 4

5 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 5

6 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 6

7 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 7

8 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 8

9 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 9

10 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 10

11 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 11

12 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 12

13 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 13

14 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 14

15 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 15

16 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 16

17 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 17

18 揺れ、揺れについて学ぼう! Дізнайтеся про коливання та коливання 18

HIA 公益財団法人 兵庫県国際交流協会

県内のウクライナ避難民に対する支援

7 日本語教育等

(1) オンラインによる日本語講座と支援者向け研修（兵庫県国際交流協会）

- 在住ウクライナの方や日本語学校で日本語を学ぶ避難民の協力により、今、必要な生活の言葉や、暮らしの中の疑問に即応できる、効果的な教室を展開

NO.	か	ことば	よみかた		
1	1	おはよう(ございます)	ohayou: gozaimasu	Добрий ранок	Exp
2	1	こんにちは	konnicchiwa	Добрий день, привіт	Exp
3	1	こんばんは	konbanna	Добрий вечір	Exp
4	1	じゃあ、また	jaaa, mata	До зустрічі, Бувай, Па па, Побачимося	Exp
5	1	おやすみ(なさい)	oyasumi (nasai)	Добраніч	Exp
6	1	しつれいします	shitsureishimas	До зустрічі (скорочена від наступної фрази)	Exp
7	1	おさきにしつれいします	osaki ni shitsureishimas	Вітаю, що іду раніше (більш ввічлива фраза)	Exp
8	1	おつかれさま(でした)	otsukaresama (desita)	Добре попрацювали (При вітанні і прощанні)	Exp
9	1	これ	kore	це (згадується більше во вас)	N

ことばリストの作成
読み方(キリル文字)と意味



授業のサポート
①言語面 ②内容面 ③心理面

対象者	内容	実施時期	受講実績
ウクライナ避難民 (神戸市以外)	・地域の方との交流に必要な入門期の日本語を学ぶ	R4.8.22(月)～ R5.8.28	3講座 10人
日本語学習支援者	・県内の受け入れ状況、支援体制 ・心理的なケアや支援に際しての留意点 ・日本語教育の実践例等	R4年度 3回開催 ①R4.6/16(木) ②R4.7/13(水) ③R5.1/12(木)	①55人 ②42人 ③28人

県内のウクライナ避難民に対する支援

7 日本語教育等

(2) 公共職業能力開発施設が日本語教育を含む職業訓練を実施

実施機関	内容	実施時期	受講実績
県立神戸高等技術専門学院 (神戸YWCAに委託)	・日本で働くために必要な日本語、パソコンスキル、ビジネスマナーなどを身につける ・月10万円の職業訓練受講給付金が支給される	R4. 9.16～12.15 [3ヶ月]	4人
		R5. 9.15～12.14 [3ヶ月]	1人

※神戸市内でKICC（神戸国際コミュニティセンター）やKFC（神戸定住外国人支援センター）が日本語講座を実施するほか、市町の国際交流協会が日本語を学ぶ機会を提供



8 こころのケア

県こころのケアセンターが、市町担当者等へオンデマンドで相談・助言に当たるほか、既存研修を活用し避難民を支援する専門職へオンラインで研修を実施

研修名	開催日	受講実績
「被災者や被害者をささえるために ーサイコロジカル・ファーストエイド(PFA)を学ぶー」	R4.8.16(火)～17(水)	R4 県・4市・1団体
	R5.8.23(水)～24(木)	
「被害者や被災者の中長期の回復を支えるこころのケア ーサイコロジカル・リカバリー・スキル(SPR)ー」	R4.8.30(火)～31(水)	R5 県・2市
	R5.9. 6(水)～ 7(木)	

R5.2.16 JICA関西と県こころのケアセンターの共催にて
避難民・難民支援関係者間のネットワークづくりを目指して
セミナーを開催



県内のウクライナ避難民に対する支援

9 公民連携プラットフォーム○登録状況 59法人・団体 (R6. 1.31時点)

支援物資等

AI翻訳機、生活用品、食料品、家電製品、住居、電子マネー機能付きカード(10万円チャージ分/世帯)、QUOカード(5千円/人)、就業機会の提供、イベント(コンサート等)への招待 等



AI翻訳機の提供



カード支給

コープこうべ災害緊急支援基金「ハート基金」による
電子マネー機能付きカード(コピーカード)の提供

県内のウクライナ避難民に対する支援

9 公民連携プラットフォーム（2）



自然災害からの復興を支援する団体と衣料品製造小売大手従業員がコラボ、冬物衣料の提供 22/10/9

兵庫県在住 / ウクライナ避難民 / 無料 / のための健康診断

ウクライナ避難民の方を対象に、無料の健康診断を実施しています。ご希望される方は、お気軽にお申込みください。私たちは、皆様が健康で快適な生活を送れるように全力でサポートいたします。一緒に健康な生活を送りましょう！

毎週土曜日 09:00-17:00 予約制

健康診断内容

- 問診
- 胸部X線検査
- 心電図検査
- 身体測定
- 腹部測定
- 腫瘍マーカー-CEA
- 視力検査
- 聴力検査
- 尿検査

医療法人社団 星島会 星優クリニック 兵庫県伊丹市桜ヶ丘1-3-23

R5.3月から伊丹市の医療法人星島会で働くご夫妻、日本での医師免許取得を目指す ※神戸新聞 R5.5.2報道

伊丹の病院での健康診断の提供 23/5～ (避難した医師が言葉のサポート)



音楽を通じた交流会の提供 24/1/28 於：原田の森

県内のウクライナ避難民に対する支援

10 ウクライナ避難民コミュニティ形成促進事業

避難生活の長期化等を見据え、避難民の安全・安心を支えるため、地域におけるコミュニティ形成を促進することを目的に、避難民県内視察バスツアー、避難民同士の交流会、避難民によるウクライナ文化紹介等を実施

	R5 実施日	実施場所	内容	参加者数
1	7月5日～20日	養父市立養父中学校	ウクライナ避難民撮影による風景写真展	約200名
2	8月12日～16日,19日 11月28日～12月12日	養父公民館等	ウクライナ避難民撮影による風景写真展	約200名 約250名
3	7月26日	芸術文化観光専門職大学	ウクライナ避難民プロダンサーによる特別講義	約20名
4	8月5日	長田区大国公園	のだきた夏祭り出店	約50名
5	8月9日	有馬温泉	有馬温泉イベント(交流会)実施	約30名
6	8月25日	青海波 劇場波乗亭	淡路市バレエバスツアー実施	約20名
7	10月14日、15日	多可町、西脇市	多可町バスツアー、日本文化(紙漉き、巻き寿司作り、風呂敷包み体験)	約40名
8	10月28日	JICA関西	JICA秋祭り(ウクライナ民芸品等の販売)	約200名
9	11月10日	丹波市	丹波国際映画祭(ウクライナのアニメ映画上映)参加	約10名
10	11月11日	川西キセラホール	ウクライナ支援チャリティコンサートでのバレエ披露	約1000名
11	11月23日	淡路島	南あわじ市バスツアー	約40名
12	1月27日	加東市	小野加東ロータリークラブ講演会&コンサート(ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジー コンサート)	約400名
13	2月4日	神戸市ポートピアホール	輝音管弦楽団演奏会(交流会)	約40名

ウクライナ避難民コミュニティ形成促進事業



交流会 & バスツアー

ウクライナ避難民コミュニティ形成促進事業



ウクライナ文化紹介

クワイナってどんな国？

ご挨拶

ここに避難されている皆様、お久しぶりです。この度は、ウクライナからの避難民の方々、そして、そのご家族の方々と共に、このまちで生活することになりました。このまちで生活することになったことは、大変なことです。しかし、このまちには、多くの方々が、私たちを歓迎してくれています。そして、私たちも、このまちで生活することになったことを、嬉しく思っています。これからも、このまちで生活することになったことを、嬉しく思っています。これからも、このまちで生活することになったことを、嬉しく思っています。

ウクライナの暮らし

ウクライナは、東欧に位置する国です。国土の大部分は森林で覆われており、農業も盛んです。また、ウクライナには、多くの民族や言語が存在しています。私たちは、このまちで生活することになったことを、嬉しく思っています。これからも、このまちで生活することになったことを、嬉しく思っています。

ウクライナ避難民コミュニティ形成促進事業

ウクライナ文化紹介

芸術文化観光専門職大学でバレエの講義(R5.7.26)

演劇を学ぶ学生に本場のバレエダンサーによる基礎講座を実施



木田真理子准教授とのコラボ

神戸新聞R5.7.27報道



JICA秋祭り (R5.11.23)

JICA秋祭りにて、ウクライナコーナーを、民芸品の手作り体験等で文化交流



ウクライナ避難民コミュニティ形成促進事業

交流会&バスツアー

多可町へのバスツアー(R5.10.14,15)

杉原紙の体験や、マイスター工房八千代での巻きずしづくり等



南あわじ市へのバスツアー (R5.11.23)

人形浄瑠璃、イングランドの丘でのBBQ、玉ねぎ収穫体験、そして美しいサンセット



南あわじ市長との談笑



兵庫はウクライナとともに *Нуро* з Україною

